

◆◆◆《第2864回金融ファクシミリ新聞社セミナー》のご案内◆◆◆

新しい金融ファクシミリ新聞社セミナーをご案内致しました。ご回覧、ご検討をお願いします。
 主催：FNコミュニケーションズ(電話03-3639-8858) 共催：金融ファクシミリ新聞社(http://www.fng-net.co.jp)

海外主要14カ国での 「腐敗防止法」強化の流れと対応策

ーグローバルな企業活動で思わぬ危機に陥らないためにー

中山 達樹 氏 中山国際法律事務所 弁護士
 (独)中小企業基盤整備機構 国際化支援アドバイザー

【講演趣旨】 国内経済の停滞を受け、日本企業のアジア新興国進出が加速しています。もともと、海外での種々のリスクを十分に熟知した上で、適切な予防措置をとった上で海外進出する日系企業は多くありません。実際、海外でのトラブルに遭遇する件数も増加し、リスク管理の重要性が増しております。特に最近では、世界的に腐敗防止規制が強化されており、日本人や日本企業の関係者が実際に海外当局に逮捕されたり摘発されたりするケースも増えています。

このような現状を踏まえ、日系企業が海外展開する上で欠かせない13カ国の腐敗防止規制を取り上げ、各国法令、取締機関、最近の動き等を横断的に徹底比較し、日本企業としての対応策及び子会社の効果的な管理方法等を解説します。

【講演項目】

(定員20名、撮影・録音はご遠慮ください)

- | | |
|--|--|
| 1. アジア新興国の現状と、腐敗防止規制強化の世界的潮流
(1) アジア新興国の現状
(2) アジア新興国における汚職リスクとは？
(3) アジア新興国における最近の規制強化の動き
2. 日・英・米の海外腐敗防止法
(1) 「商業賄賂」の意義
(2) 適用範囲の徹底比較・検討 | 3. 中国、インド、インドネシア、ベトナム、ブラジル、タイ、ミャンマー、シンガポール、マレーシア、フィリピン、スリランカの腐敗防止法
(1) 各国の法制度・取締機関等の徹底比較・検討
(2) 各国の最近の動きその他日系企業が注意すべき点を詳解
4. 日系企業がとるべき海外腐敗防止対策
5. 海外子会社・関連会社の適切な管理方法 |
|--|--|

【講師紹介】 中山 達樹(なかやま たつき) 氏 1998年東京大学法学部卒業。2005年弁護士登録。07年三宅・山崎法律事務所入所。10年シンガポール国立大学ロースクール修士課程(アジア法専攻)修了。10年～11年シンガポールのDrew & Napier法律事務所に、初の日本人弁護士として勤務。13年独立行政法人中小企業基盤整備機構の国際化支援アドバイザー。15年10月現事務所を設立、一層の活躍を目指す。

【著書・論文】 『シンガポールの紛争解決(民事訴訟・商事仲裁)』(シンガポール日本人商工会議所所報)、『アジア労働法の実務 Q&A』(商事法務)、『アジア進出に関する法務のポイント』『タイ進出に関する法務のポイント』(いずれも日経産業新聞WEB版)、「東南アジア進出ガイドブック」『盛り上がりを見せるミャンマー進出の法的留意点』(月刊ビジネス法務)等多数。

【日時】 2015年12月11日(金)9:30-11:30	【場所】 東京都中央区日本橋小網町9-9 小網町安田ビル2F セミナールーム セミナー事務局TEL:03-3639-8858
【料金】 1人目は 22,000円(税込23,760円) 2人目から 20,500円(税込22,140円)	

◆◆◆ 第2864回セミナー参加申込書 ◆◆◆

●参加お申し込みには下欄各項目をご記入の上、下記受付FAXまでお送り下さい。●申込者が複数の場合は全員のお名前をご記入下さるか、この申込書をコピーされ別途ご記入の上、FAXして下さい。●弊社ホームページ「金融ファクシミリ」で検索からもお申し込みできます。●お客様の情報を部外者に提供することはありません。●FAXまたはホームページからの申し込み受付を以て正式契約となります。●申込書受信後、弊社から参加受講券を兼ねた「受付完了メール」をお客様へ送信し、その後、「請求書」を別途ご郵送します。●申し込まれたのに、受付完了メールがお客様の元に届かない場合は、弊社担当(電話03-3639-8858)までご連絡下さい。●お申し込み後に参加不都合となった場合は、キャンセルではなく代理出席をお願いします。それも難しい場合は資料郵送をもって出席とさせていただきます。●お振り込みいただいた受講料は原則お返しできませんが、開催中止の場合はご返金します。その他の補償はしかねます。●今後、当FAX案内を希望されない方は、欄外に会社名、部署名、電話番号、FAX番号とともに「案内不要」とご記入の上、受付FAXまでご送信下さい。

【法人名】	【部署名】
【役職名】	【氏名】
【Tel】	【受講証明書】 ご希望の方は右の□にレ点を。□
【Mail】	
【事務ご担当者名】	【Tel】
【請求書等ご送付先】 〒	

◆◇■ 受付FAX:03-3639-3720 ■◇■ その他ご連絡事項がありましたら欄外にお書きください。